

2023年6月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済については、個人消費が緩やかに持ち直しているが
企業活動の一部にやや弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2023年6月22日公表）において、「景気は緩やかに回復している」との判断が維持された。個別項目については、「雇用情勢」において、雇用者数の増加、賃上げの動きを受けて「このところ改善の動きがみられる」との判断に引き上げられた。

以下では、「全国的情勢」、「和歌山県的情勢」を主要経済指標（主に5月の値）に基づき報告する。

全国的情勢

- ① 需要動向に関して、「個人消費」、「輸出」、「住宅建設」、「設備投資」、「公共投資」のいずれに関しても、判断が維持された。
- ② 企業活動に関して、「生産」、「企業収益」、「業況判断」、「倒産件数」のいずれに関しても、判断が維持された。
- ③ 雇用情勢に関しては、雇用者数の増加や賃上げの動きを受けて、「このところ改善の動きが見られる」との判断に引き上げられた。判断引き上げは11か月ぶり。
- ④ 物価に関しては、「消費者物価」が「上昇している」との判断が維持される一方で、「国内企業物価」については、「このところ緩やかに下落している」との判断に変更された。5月の企業物価指数は前月比マイナス0.7%と3か月ぶりに低下（エネルギー価格が低下）。
- ⑤ 世界経済に関しては、「一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している」との判断が維持された。国・地域別では、1～3月期の実質GDP成長率（前年比）が上昇したインドで「景気は緩やかに回復している」との判断に引き上げられる一方で、ユーロ圏では物価高の影響で消費が弱含んでおり、「景気は足踏み状態にある」との判断に引き下げられた。ユーロ圏の景気判断引き下げは今年に入って2回目。

和歌山県的情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（全店、5月）は、前年比2.0%増となり、8か月連続で前年を上回った。近鉄百貨店和歌山店の販売額（5月）が5か月ぶりに前年を下回る。和歌山市内の食品価格（生鮮食品除く）は前年比7.8%上昇しており、家計への影響が懸念されるが、現時点ではスーパー販売額は底堅く推移しているものと考えられる。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、5月）は、前年比27.2%増となった（増加は9か月連続）。半導体不足の緩和によりメーカーの新車供給量が持ち直しに向かっている。ただし、コロナ禍前（2019年5月）の販売台数との比較では20.2%減となっており、依然としてコロナ禍前の水準は回復できていない。

新設住宅着工戸数（5月）は、前年比25.9%減となり、3か月連続で前年を下回った。「分譲住宅」が4か月連続で減少しており、「持家」についても3か月連続で前年を下回った。資材価格の高騰や物価高の影響で、住宅価格が上昇していることから、全国的に「持家」の着工戸数は低水準にある。

② 企業活動面では、鉱工業生産指数（4月）は、2か月連続で上昇。ただし、昨年末の水準（101.0）は回復できておらず、生産用機械工業、金属製品工業が低迷している。国内全体では、半導体等の供給制約の緩和もあり、自動車工業を中心に生産指数は持ち直し傾向にある。ただし、世界経済の減速懸念は残り、外需の下振れに留意する必要がある。

公共工事請負金額（5月）は、前年比17.7%減となり、3か月ぶりに前年を下回った。前年は下回ったものの、前月に続いて、すさみ串本道路関連工事や田辺市庁舎新築関連工事

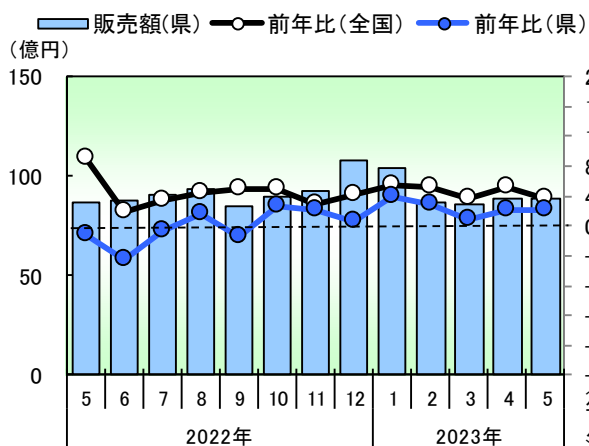
などの大型工事の発注が複数見られた。

帝国データバンクが発表している県内 TDB 景気 DI (5 月) は、前月から 1.7 ポイント上昇した (上昇は 2 か月連続)。帝国データバンクは、業種間や規模別での景況感の差が拡大している点を指摘しつつ、「インバウンド消費を含めた個人消費の回復に支えられ、足下の県内経済は緩やかな回復基調をたどる」としている。

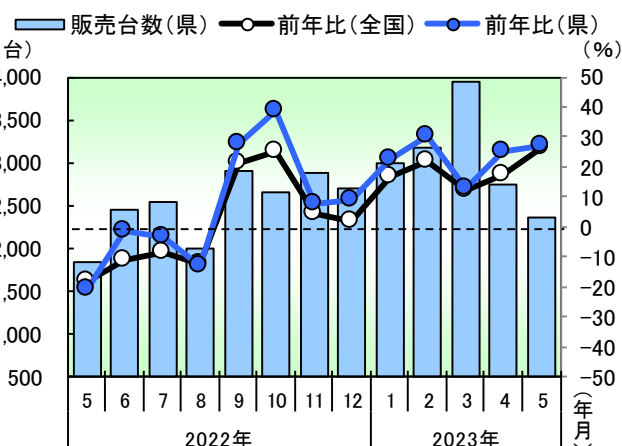
③ 雇用面については、有効求人倍率 (5 月) は、前月から 0.01 ポイント下降し 1.16 倍となった (下降は 3 か月連続)。有効求人数が前月比 2.3% 減と 2 か月連続で減少した。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の「5 類」移行による経済活動の正常化で、新規求人数の増加が予想されるが、新規求人数は 2 か月連続で減少している。

全国の雇用情勢について、大和総研はインバウンド消費の回復、対人接触型サービスの労働需要の増加、人手不足を背景として、雇用環境は緩やかに改善するとしている。

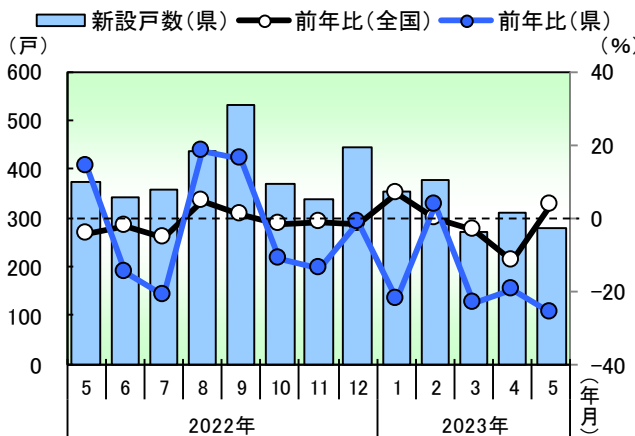
百貨店・スーパー販売額



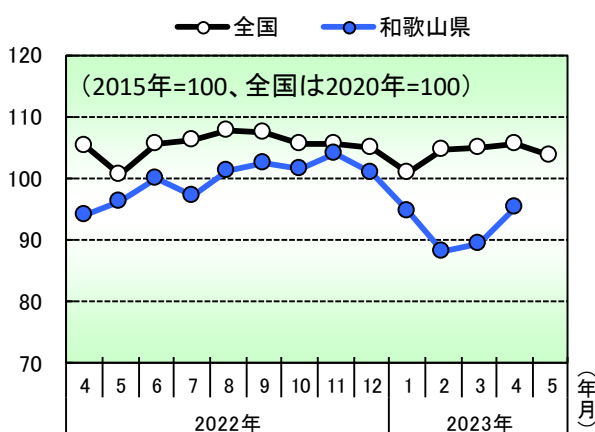
新車(登録車+軽自動車)販売台数



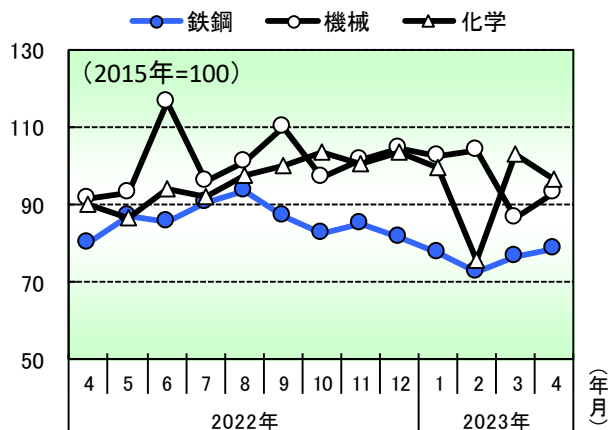
新設住宅着工戸数



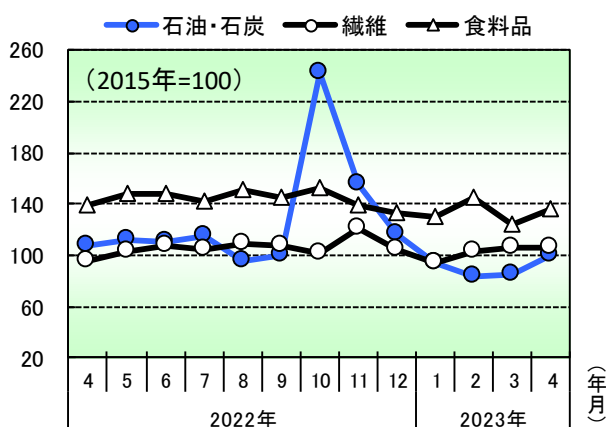
鉱工業生産指数



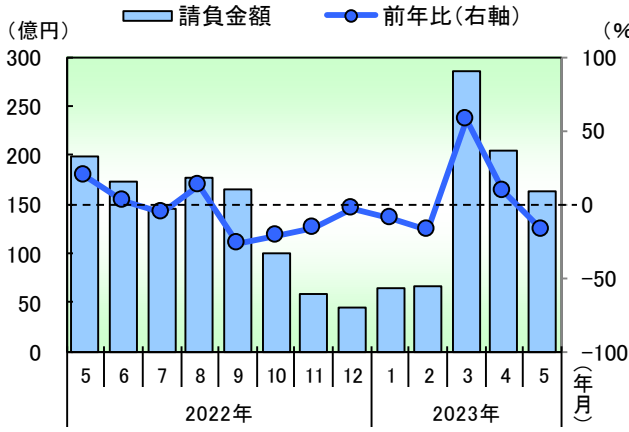
鉱工業生産指数(和歌山県)



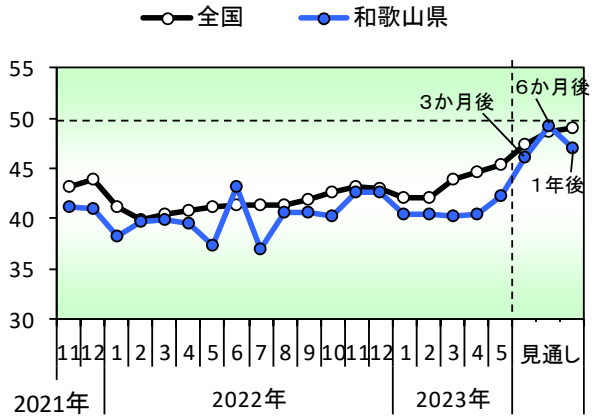
鉱工業生産指数(和歌山県)



公共工事請負金額(和歌山県)

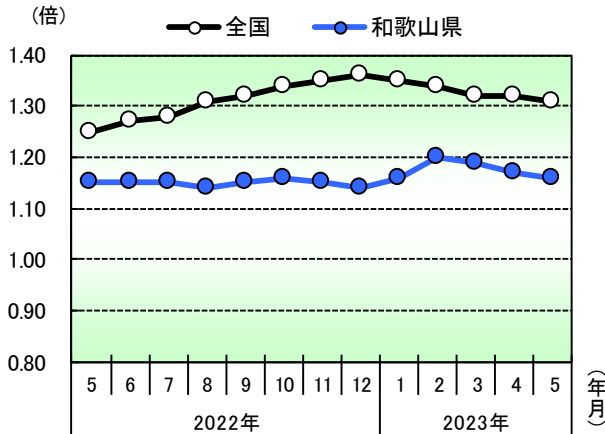


TDB景気DI(判断の分れ目は50)



(資料) 株式会社データバンク

有効求人倍率



(1) 個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2017年	1,237	0.0	-1.3	38,692	5.3	4.7	4,539	-0.3	-5.6
2018年	1,211	0.0	-2.1	38,949	0.2	0.7	4,935	-2.3	8.7
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年4月	86.5	4.6	2.9	2,200	-14.7	-21.7	389	2.4	-16.0
5月	86.8	9.1	-1.3	1,847	-18.2	-20.6	375	-4.3	14.3
6月	87.6	1.9	-4.5	2,461	-11.2	-1.6	344	-2.2	-15.1
7月	91.0	3.3	-0.8	2,543	-8.2	-3.1	358	-5.4	-21.3
8月	93.6	4.3	1.7	2,001	-12.1	-12.7	436	4.6	18.5
9月	85.0	4.8	-1.6	2,899	21.4	27.9	531	1.0	16.2
10月	89.3	4.9	2.6	2,648	25.1	38.6	372	-1.8	-11.4
11月	92.0	3.0	2.0	2,877	4.5	7.5	338	-1.4	-13.8
12月	107.8	4.1	0.7	2,696	1.6	9.2	444	-1.7	-1.1
2023年1月	104.4	5.5	3.8	2,999	16.6	22.3	354	6.6	-22.0
2月	86.7	5.2	3.0	3,185	22.1	30.4	378	-0.3	3.8
3月	85.9	3.6	0.8	3,942	12.2	13.2	271	-3.2	-23.2
4月	88.4	5.2	2.2	2,754	17.4	25.2	312	-11.9	-19.8
5月	88.5	3.7	2.0	2,350	26.2	27.2	278	3.5	-25.9

(2023年7月3日に取得可能な資料より作成)

(2) 企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2017年	103.1	109.2	107.1	120.1	102.8	100.7	105.7	117.1	1,292.6	-9.5	
2018年	104.2	109.2	109.5	117.9	101.2	98.1	106.1	134.7	1,487.6	15.1	
2019年	101.2	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	90.9	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	95.7	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年4月	105.3	94.0	80.2	91.5	90.4	107.6	94.6	139.5	189.2	-35.5	39.6
5月	100.7	96.2	87.0	93.1	86.8	112.0	102.2	148.5	198.0	19.0	37.4
6月	105.7	100.0	85.9	116.7	94.2	109.9	107.6	148.4	172.7	2.7	43.2
7月	106.3	97.2	90.8	96.2	92.2	114.3	104.0	142.4	145.3	-5.5	36.9
8月	107.8	101.3	93.8	101.3	97.8	96.0	108.2	151.1	176.8	12.5	40.6
9月	107.3	102.3	87.2	110.3	100.3	100.1	107.6	145.2	166.1	-26.9	40.6
10月	105.5	101.5	82.7	97.3	103.7	241.8	101.4	152.2	100.6	-21.2	40.3
11月	105.5	104.0	85.0	101.6	100.6	155.6	121.2	139.0	58.5	-16.1	42.7
12月	104.9	101.0	81.5	104.7	103.8	116.8	105.0	132.9	44.3	-2.3	42.6
2023年1月	100.8	94.7	77.6	102.6	99.8	93.7	93.9	129.6	65.1	-9.6	40.4
2月	104.5	88.2	72.7	104.1	75.7	82.6	102.5	144.3	65.8	-16.8	40.5
3月	104.8	89.2	76.7	86.8	103.3	84.4	105.2	124.2	285.3	57.1	40.3
4月	105.5	95.1	78.6	93.4	96.6	100.3	105.7	135.3	205.7	8.7	40.5
5月	103.8								162.9	-17.7	42.2

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2023年7月3日に取得可能な資料より作成)

(3) 雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2017年	1.50	1.27	17,110	13,518	22.2	19.3
2018年	1.61	1.34	17,355	12,970	19.6	18.1
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年4月	1.24	1.15	17,143	14,913	14.4	18.2
5月	1.25	1.15	17,305	15,110	17.0	19.7
6月	1.27	1.15	17,317	15,055	17.6	18.5
7月	1.28	1.15	17,247	14,977	13.4	16.4
8月	1.31	1.14	16,930	14,898	15.1	16.8
9月	1.32	1.15	16,836	14,664	14.2	15.4
10月	1.34	1.16	16,752	14,486	12.7	15.1
11月	1.35	1.15	16,626	14,400	14.5	15.7
12月	1.36	1.14	16,377	14,386	12.7	13.3
2023年1月	1.35	1.16	16,260	13,991	11.1	12.2
2月	1.34	1.20	16,571	13,838	15.3	18.8
3月	1.32	1.19	16,870	14,216	18.5	21.5
4月	1.32	1.17	16,849	14,373	15.4	21.0
5月	1.31	1.16	16,464	14,179	16.5	20.2

(2023年7月3日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。